（注２）　金融商品の時価の算定方法

⑴　現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

⑵　未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

８　賃貸等不動産に関する事項

本学は賃貸不動産として寄宿舎等を有している。これらの賃借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりである。

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
2,259,203千円	△　46,163千円	2,213,039千円	2,649,739千円

（注１）　貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額（損益外減価償却累計額を含む）を控除した金額である。

（注２）　当期増減額は、減価償却による減少額である。

（注３）　当期末の時価は、主として適正に市場価格を反映していると考えられる指標に基づく金額、償却資産については、適正な帳簿価格による。

また、賃貸等不動産に関する平成24年３月期における収益及び費用等の状況は次のとおりである。

賃貸収益	賃貸費用	その他（売却損益等）
38,370千円	73,199千円(39,825千円)	―千円

(注)　「賃貸費用」の（　）は損益外減価償却相当額であり、内数である。

９　資産除去債務に関する事項

⑴　資産除去債務の内容

石綿障害予防規則に基づくアスベスト除去費用

⑵　支出発生までの見込期間、適用した割引率等の前提条件

見込期間　21年、割引率　1.7%

⑶　資産除去債務の総額の期中における増減内容

期首残高	31,755千円
時の経過による増加額	553千円
資産除去債務の履行による減少額	―千円
その他増減額	―千円
期末残高	32,309千円

10　重要な後発事象

該当なし。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第84特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		損益内	損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	22,566,692	436,305	195,092	22,807,905	6,860,226	879,267	―	―	―	15,947,679	
	構築物	1,511,358	116,376	6,557	1,621,178	691,769	78,802	―	―	―	929,408	
	機械装置	29,143	―	―	29,143	25,505	2,230	―	―	―	3,638	
	工具・器具及び備品	1,138,987	22,923	3,576	1,158,334	907,073	75,258	―	―	―	251,261	
	船舶	152	―	―	152	152	―	―	―	―	0	
	車両運搬具	1,245	―	―	1,245	1,245	―	―	―	―	0	
	計	25,247,579	575,605	205,226	25,617,959	8,485,972	1,035,560	―	―	―	17,131,987	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	742,121	68,502	48,753	761,869	154,316	44,036	―	―	―	607,553	
	構築物	146,336	50,741	2,283	194,794	48,375	14,305	―	―	―	146,418	
	機械装置	980	15,308	―	16,288	1,509	1,287	―	―	―	14,778	
	工具・器具及び備品	3,133,742	1,106,131	5,657	4,234,217	2,254,851	439,242	―	―	―	1,979,365	
	図書	4,438,726	39,710	455	4,477,981	―	―	―	―	―	4,477,981	